

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモイが最高で1,375cells/ml、シャットネラ属が最高で4cells/ml、ディクチオカ・フィビュラが最高で310cells/ml確認されました。

カレニア・ミキモイは鳴無から中学校前の観測点で被害が想定される細胞密度になっています。

対してシャットネラ属は、今回、被害が想定される細胞密度になった観測点はありませんでした。

引き続き慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

		カレニア・ミキモイ	シャットネラ属	ディクチオカ・フィビュラ	珪藻類
中学校前	0m	0	0	0	400
	2m	330	0	120	700
	5m	74	0	25	400
目ノクソ	0m	0	0	0	1,200
	2m	73	0	150	900
	5m	46	0	13	1,500
光松	0m	0	0	0	700
	2m	74	0	20	2,200
	5m	80	1	10	750
大鹿	0m	0	0	0	600
	2m	0	0	3	1,800
	5m	17	0	1	1,100
水試小割前	0m	1	0	1	2,600
	2m	15	1	4	800
	5m	11	2	1	2,000
鳴無	0m	0	0	0	0
	2m	9	4	310	0
	5m	1,375	1	31	0



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモイ:
数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属:
10～100cells/ml(魚類のへい死)
- ・ディクチオカ・フィビュラ(へい死):
赤潮発生時